

市政記者クラブ 様

防災危機管理局想定最大規模災害対策推進課

担当：板津・日比 電話：972-4252

港区南陽地区における防災ワークショップの開催について
～伊勢湾台風の教訓を活かした避難行動の検討～

本市では、想定し得る最大規模の風水害への対策として、市民一人ひとりの災害リスクに応じた適切な避難行動に対する理解促進を進めているところです。

その取組の一環として、大規模な風水害被害が想定される港区南陽地区において、過去に同地区に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風を振り返り、当時の記憶と教訓を活かして現在の避難行動を考えるワークショップを開催しますので、お知らせします。

なお、ワークショップでは、地域住民を中心に、学校や地元企業の関係者にもご参加いただきグループワークを行うほか、有識者による講演も予定しています。

1 日 時：令和7年5月27日（火）、6月30日（月） いずれも14：00～16：00

2 場 所：名古屋市南陽交流プラザ 大会議室（名古屋市港区東茶屋三丁目123番地）

3 参加者：南陽地区4学区（南陽、福田、西福田、福春）の住民 40人程度
地区内の小中学校教諭（校長等） 6人
地元企業（イオンモール名古屋茶屋、イオン南陽店） 3人程度

4 内 容：

過去に同地区に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風の体験談や当時の写真資料等をもとに、当時の記憶と教訓を振り返るとともに、多様な避難行動について話し合う予定をしています。

5月27日	講演	伊勢湾台風の長期浸水と避難 京都府立大学・荒木裕子准教授
	グループワーク①	伊勢湾台風の振り返り 経験者の体験談や当時の写真資料等をもとに、当時の様子を振り返るとともに現代に活かすべき教訓について考える。
6月30日	グループワーク②	各自の避難行動について 地域の災害リスクや伊勢湾台風の教訓を踏まえ、マイタイムライン ^{※1} を作成し、各自の避難行動について考える。
	グループワーク③	啓発用リーフレット ^{※2} 作成に向けて ワークショップ後に名古屋市で作成予定の啓発用リーフレットに掲載する事項（伊勢湾台風の教訓や避難行動における注意点等）について企画する。

※1 台風・大雨などのときに「いつ」「誰が」「どのように行動するか」を時間の流れに沿って考えておくものです。

※2 南陽地区等に全戸配布予定